

No.284

釧路教育研究所

平成30年 6月



管内教育を牽引する「釧研」に期待！

釧路管内町村教育委員会連絡協議会

会長 国 安 修 一

一町村の行政の責任者として、それぞれの教育行政執行方針を町村民にどれだけわかりやすく伝え、理解してもらうのか、と言うことと学校教育の範疇では第一線で児童生徒と日々向き合っている先生方一人ひとりに理解し、熟知してもらい、意識してもらうことが大事だし、必要ではないだろうか。

学校長が指し示す学校経営方針の中にも散りばめられているので、それぞれの執行方針をくみ取っていただき、ちょっとでも意識してもらえれば、と思う。

私自身、村研の4月集会時に時間をいただき、「本年度の重点と主な施策」をペーパーにし、配付するとともに転入された先生方の歓迎も含めて村研を構成するメンバーが一堂に会しているので、直接、メッセージを送らせてもらっているが、意欲だけが先行し、自己満足の域をでないと、自問自答している。

釧路教育研究所。管内の教育研究の中核として、実践と実績を積み上げられてきている。現場の先生方のニーズを把握し、講座を開設し、明日への授業や実践につなげている。釧路管内学校教育研究大会についても、管内7ヶ町村を輪番で持ち回りをし、今年度においては、弟子屈大会と併せており、町研と釧研がタイアップし、着々と準備が整えられており、私自身、弟子屈町を訪問し、児童生徒の様子や先生方にお会いし、授業を参観するのを今から楽しみにしている。昨年度は、鶴居で開催させていただいたが、授業者は勿論だが、村研全体で大会開催に関わり、先生方の意欲とともに連帯感も醸成され、大きな成果を収めることができた。『覆水盆に還らず』である。管内研や釧研講座は、歴史を刻み、その時々々の教育情勢や教育課題に鑑みながら、改善し、引き継がれてきている。この実績や成果は、将来においても絶やすことなく、継続してってもらいたい。私達、教育長部会としても、可能な限り、できうる限りの支援や協力を、今後においても、惜しまない。

常に、現場サイドに立脚した事業や研究がおこなわれ、管内教育の中心となって活動されていることに衷心より敬意を表すとともに釧研と町村研をつなぐ役割を今後においても果たしていただきたい。

新学習指導要領の移行期間になっているが、本格実施を見据えて、その先鞭役となり、最新の情報と実践や資料等々を、町村研や各学校に配信・発信していただきたい。湊谷所長をはじめ、両副所長並びに事務局長、そして、所員のみなさんのご活躍を期待し、所報発行にあたっての言葉としたい。

釧路教育研究所の研究

昨年度は、「社会に生きる資質・能力を育む授業作り」を研究主題に設定し、そのための研究理論を所員一同で構築し、研究をスタートさせた1年となりました。今年度は、昨年度の反省を生かして、さらに具体的でよりよい研究にしていきたいと考えています。

本研究は、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を行い、子どもたちに社会に生きる資質・能力を育ていけるよう研究を進めています。具体的な研究内容として、

〔単元計画の工夫〕

- ・各教科等の特質に応じた見方・考え方を意識した学習活動の設定
- ・深い学びに迫る「学びの地図」を用いた単元構成の工夫

〔学習過程の工夫〕

- ・目的意識をもって取り組める問題場面と課題の設定
- ・協働を通して、自分の考えを広げ深める学習活動の工夫
- ・次の学びにつながる振り返りの工夫

上記のように単元計画、学習過程の二方向から授業改善を図ってきました。

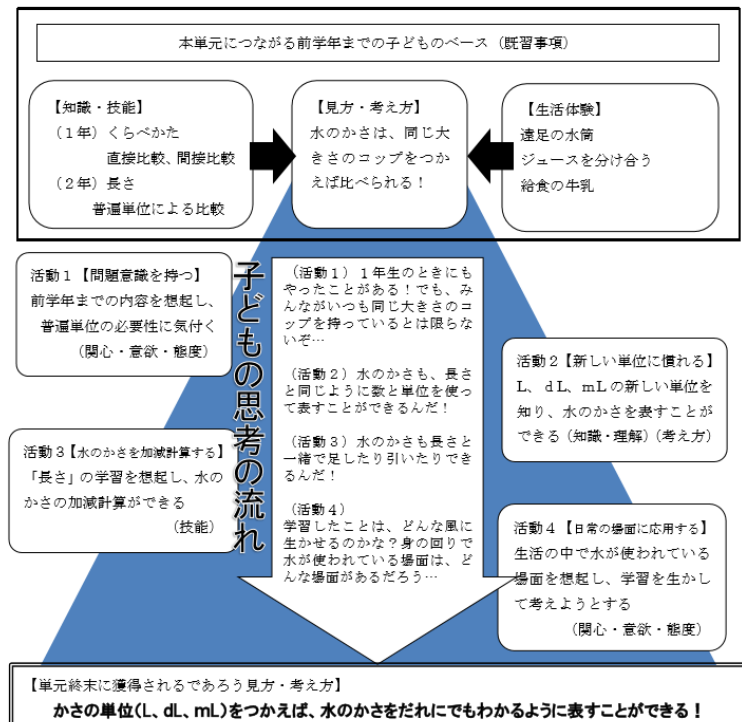
(紙面の都合上、単元計画の工夫の「学びの地図」について説明します)

〔単元計画の工夫〕【深い学びに迫る「学びの地図」を用いた単元構成の工夫】

子どもたちが今までに身に付けた知識・技能、見方や考え方を基にスタートし、単元における深い学びへとどうつなげていくかの学びの地図(構成図)を作成しました。その際には「単元終末に獲得できるであろう見方・考え方」を明確にし、どのように子どもたちに身に付けていくのか子どもの思考の流れを考え、作成していききました。

「学びの地図」の作成によって、子どもたちがどのような知識・技能を手がかりとするのか、どのような見方を身に付けさせたいのか要点をつかむことができました。また、子どもの姿を具体的にイメージすることができ、ゴールにたどりつくためのツールとして役立ちました。このゴールに到達した時にこそ「深い学びとなった」と捉えられると考えました。

研究内容1-(2) 深い学びに迫る「学びの地図」を用いた単元構成の工夫



くわしい研究内容につきましては、昨年度の研究紀要(平成29年度)やホームページ「せんけん Web」をご覧ください。今後行われます釧研講座にご参加いただければ幸いです。その際にはぜひたくさんのご意見をお聞かせいただけたらうれしいです。

研究主題

社会に生きる資質・能力を育む授業作り

【2／3年次】

～主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善～

目指す子ども像

- ◎主体的に学び、学んだことを社会に生かしていく子ども
- ◎多様な人々と協働しながら、自己の考えを広げ深めていく子ども
- ◎学習内容を深く理解し、資質・能力を身につけていく子ども

研究仮説

必要な学習内容を明確にし、単元計画や学習過程を工夫しながら、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業を意識することで、これからの時代に求められる資質・能力を多様な人々と協働しながら育てていくことができるだろう。

【研究内容1】

単元計画の工夫

- 各教科等の特質に応じた見方・考え方を意識した学習活動の設定
- 深い学びに迫る「学びの地図」を用いた単元構成の工夫

【研究内容2】

学習過程の工夫

- 目的意識をもって取り組める問題場面と課題の設定
- 協働を通して、自分の考えを広げ深める学習活動の工夫
- 次の学びにつながる振り返りの工夫

ぜひ釧路教育研究所の研究に少しでも興味をもっていただき、釧路教育の充実・発展に向けて共に取り組んでいけたらと考えています。今後どうぞよろしくお願いいたします。

平成30年度 管内公開研究会情報

	開催日	会場校	指定など	研究主題	公開授業・教科等
釧路町	10月25日 (木)	遠矢中学校	町指定	生き生きと思いや考えを伝え合い、主体的に学び続ける生徒の育成 ～学び合う場を工夫した授業を通して～	全教科 公開（英語・数学）
	11月16日 (金)	別保小学校	町指定	豊かな心と主体性を育む道徳教育 ～子どもが考え、議論し、学びを深める授業を通して～	道徳
	11月22日 (木)	富原小学校	自主公開	自己を高めていく子どもの育成 ～互いを認め合って学び合う授業づくり～	道徳・全教科
厚岸町	11月16日 (金)	太田中学校	町指定	伝え合う力の育成 ～ICTを活用し、比較する力の向上を目指して～	全教科
	11月22日 (木)	厚岸小学校	町指定	自信を持って主体的に学ぶ子どもの育成 ～子どもが考えて、交流して、深める授業づくりを通して～	全教科
	11月27日 (火)	真龍中学校	自主公開	自ら学習を進める生徒の育成 ～わかる・できる・かかわる授業を目指して～	国語・理科
浜中町	11月7日 (水)	浜中小学校	町指定	主体的に学び、考えを伝え合う子どもの育成をめざして ～算数的活動を取り入れた自分の考えを表現する指導の工夫～	算数
標茶町	11月7日 (水)	標茶小学校	自主公開	主体的に考え、自律し協働する人間性豊かな子どもの創造 ～自分の考えを持ち、話し合い、深め合う教科指導 (中心教科を道徳科・算数科とする)の指導の充実を目指して～	道徳・算数
	11月16日 (金)	中茶安別 小中学校	町へき複研	自ら考え、自分の思いを伝え、お互いを認め合える児童・生徒の育成 ～各教科、道徳科における授業改善を通して～	全教科・全領域
	11月中	標茶中学校	道教委 教育課程研究 指定校事業	自らの生き方を考え、その実現のために 必要な力を身に付けることができる生徒の育成	英語
弟子屈町	11月16日 (金)	弟子屈中学校	町指定	主体的に学習する生徒の育成 ～わかる・できる授業の実践をとおして～	全教科
	12月12日 (水)	和琴小学校	町指定	国語科における読解力向上に向けた取り組み ～音読を効果的に取り入れた授業づくり～	国語
鶴居村	8月27日 (月)	幌呂小学校	道教委 道徳教育 推進校事業	話せる子どもの育成 ～特別の教科 道徳を切り口とした 授業力・教師力・学校力の向上を目指した学校改善～	道徳
	11月15日 (木)	鶴居小学校	自主公開	主体的に関わり合い、学びを広げる・深める子どもの育成 ～問題解決的な学習による振り返り活動と評価に関する研究を通して～	全教科
白糠町	11月15日 (木)	白糠小学校	町指定	仲間と関わり合い、粘り強く課題に取り組む児童生徒の育成 ～小中共通の問題解決的な学習を通して～	国語（2年・3年） 英語（6年）

事務局通信

■気温は低いものの運動会・中体連なども無事に行われたことと思います。普段なかなか運動をしない子にとっては、体力を養う絶好の時期でしょうか。また、大きな行事での子どもの成長は、特に顕著に表れていることでしょう。これから夏休みまでの間は、学習活動の充実期でもあります。先生方におかれましては、体調に十分に留意されて充実した教育実践期となることをお祈り申し上げます。

■釧研講座も順次開催しております。参加いただいた先生にとって、明日からの実践に生かせるよう準備を進めております。〆切前の講座につきまして、改めて参加をご検討ください。（事務局）

★釧路教育研究所★ 所報284号

発行日：平成30年6月

発行所：釧路教育研究所

発行者：湊谷 美樹治

URL

<http://senken.net/>

E-mail

info@senken.net